

高梁川流域地域づくり連携推進事業 成果の合意書

事業名 : アントレプレナーシップ教育を取り入れた小中高生と地域の連携事業

グループ名 : 小田川流域の小中高生と地域の連携事業実行委員会

高梁川流域地域づくり連携推進事業は、高梁川流域市町に地域課題を解決するノウハウの拡がりを生み出すことを目的として実施するものである。

本事業の実施にあたり、倉敷市（以下「甲」という。）と小田川流域の小中高生と地域の連携事業実行委員会（以下「乙」という。）は、目指す成果とそれを測る指標を以下の内容で合意する。また、乙は以下の実現を目指して事業を実施し、甲はその進捗状況を確認し、必要に応じて助言又は指導を行う。

1 ノウハウの拡がり（グループ参加団体間でのノウハウの拡がりに、どのような成果があるか）

（1）長期アウトカム（長期の成果）

目標	岡山次世代スクール協会の取り組みで、真備地区の子どもたちが起業体験できる機会が創出されることにより、そこで学んだ子どもたちの手による「復興」そして「新しい価値の創造」が生みだされることを目指す。
----	---

（2）短期アウトカム（令和元年度事業の成果）

目標	子どもたちが運営主体となる「真備フェス(仮)」を、岡山次世代スクール協会が中心となって開催できるようになる。
指標	開催:現状 0 回→事業実施後1回

目標	「真備フェス(仮)」の過程で取り組んだ、模擬会社設立、商品開発、販売、決算などについての報告会を、子どもたちが主体性をもって行えるよう、岡山次世代スクール協会が指導できるようになる。
指標	子どもたち主体の報告会:現状 0 回→事業実施後1回

（3）アウトプット（令和元年度事業の直接の結果）

目標	矢掛町「雲の上カフェ」の試作品づくりの場で、岡山次世代スクール協会のスタッフに対し、子どもたちに主体性を持たせる仕掛けや接し方について実習で伝える。
指標	受講者数:現状 0 人→事業実施後 5 人

2 地域課題の解決（イベント等に参加した住民に対して、どのような成果があるか）

（１）長期アウトカム（長期の成果）

目標	年代を超えて子どもたちが主体的に活動し、地域社会になじみ、地域を支える社会人となるよう育成する。中山間地域の地域おこし・地域創生における若者の役割を自覚させ、地域の発展・充実・進行に資することを目指す。
----	---

（２）短期アウトカム（令和元年度事業の成果）

目標	「真備フェス(仮)」で運営主体となった子どもたちが、中山間地域の地域おこし・地域創生における若者の役割を自覚する。
指標	アンケートで「小田川流域の地域に目が向いた」と答えた子どもの数： 現状 0 人→事業実施後 10 人

（３）アウトプット（令和元年度事業の直接の結果）

目標	小田川流域の小中高生を対象とした教育講演会とワークショップを開催する。
指標	小田川流域の小中高生の事業参加者数：現状 0 人→事業実施後 100 人

目標	小田川流域の子どもたちが「真備フェス(仮)」の運営主体として参加する。
指標	小田川流域の小中高生の事業参加者数：現状 0 人→事業実施後 20 人

令和元年 6 月 25 日

甲 倉敷市西中新田 640 番地
倉敷市
倉敷市長 伊 東 香 織



乙 小田郡矢掛町矢掛 2543-1
小田川流域の小中高生と地域の連携事業実行委員会
一般社団法人やかげ小中高こども連合
代表理事 井 辻 美 緒

